新日軽 ビューバルコⅡ先付金具取付け施工マニュアル

マニュアル番号	ME−1500

● 施工上のご注意とお願い

- ○ バルコニーを取付ける前に現場を訪問し、充分な打ち合わせ・確認をしてください。
  特に軀体構造・外壁材・柱角寸法・柱芯寸法を確認してください。
- ○ 木造納まりを標準としています。　鉄筋コンクリート・鉄骨造り等への取付け用ボルトなどは、現場に合わせて別途ご用意ください。
- ○ この商品は、外壁厚 12 ~ 50 mm の範囲で取付け可能です。
- ○ この商品は、住宅の2階部分に取付けることを前提に設計しております。
  これ以外の場所への取付けは、最寄りの販売店・営業所までご相談ください。
- ○ 積雪地での使用、及び屋根から雪が直接落下する場所への取付けはやめてください。
- ○ このバルコニーは先付け専用です。先付金具は、必ず壁面仕上げ工事よりも前に取付けて下さい。
  壁面仕上げ工事後は、取付けできません。
- ○ 先付金具・壁付け縦枠・根太掛け等を取付ける軀体の柱・胴差し等の強度部材が所定の場所にあり、またそれらが充分な強度を有していることを確認の上取付けて下さい。
  ALC 板にバルコニーを直接取付けることは、危険ですので絶対やめてください。

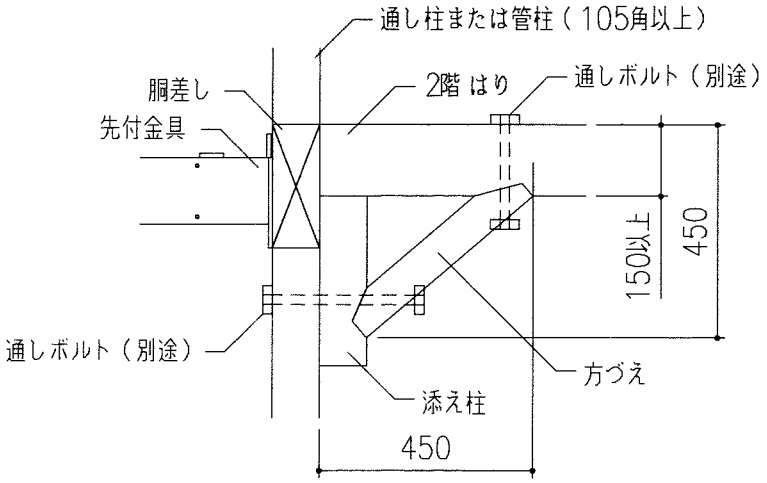
■ 梱包明細書

製品名称		製品記号	梱包内容
先付金具	単体用	TKFKS	先付金具本体　左右各1ケ　先付金具補強板　2ケ セット部品：・φ8x90 コーチスクリュー 12本　・M8 ワッシャー 14ケ ・M8x150 通しボルト 2本　・ナット付き角座金M8 2ケ ・油性コーキング（70g）1ケ　・先付金具目地パッキン 2ケ ・先付金具止水パッキン 2ケ　・φ4.1x32 丸木ネジ 8本 ・防水シート 2枚　・セッティングブロック 4ケ　・取付説明書 1
	連棟用	TKFRS	連棟用先付金具本体　1ケ　先付金具補強板　1ケ セット部品：・φ8x90 コーチスクリュー 6本　・M8 ワッシャー 8ケ ・M8x150 通しボルト 2本　・ナット付き角座金M8 2ケ ・先付金具止水パッキン 1ケ・先付金具目地パッキン 1ケ ・φ4.1x32 丸木ネジ 8本　・防水シート 1枚 ・油性コーキング（70g）1ケ　・セッティングブロック 2ケ

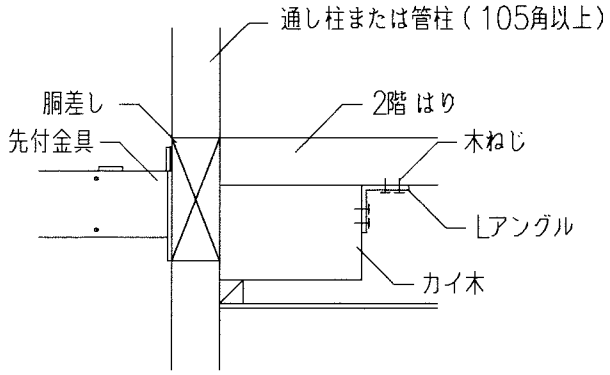
■ 軀体の補強

※ 先付金具取付部の柱には、連棟・単体どちらの場合でも必ず軀体に補強を施してください。

方づえを使用した場合の補強



カイ木を使用した場合の補強



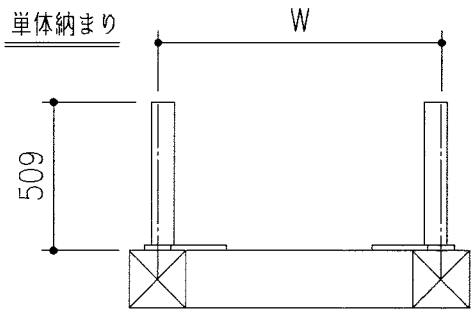
1 先付け金具取付け位置の決め方

◦ 外壁仕上げ後では、取付位置の変更ができませんので正確に位置出しを行ってください。

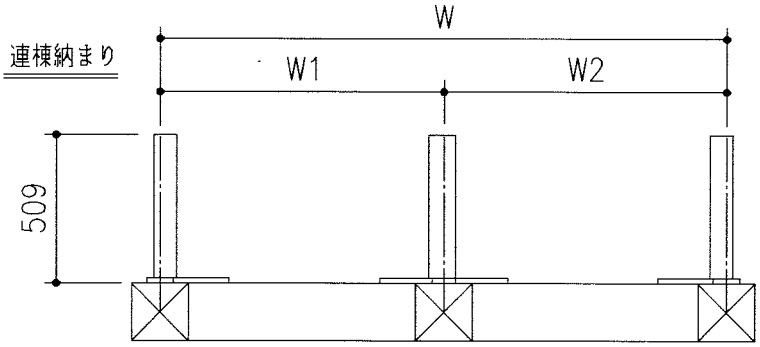
● 間口方向の寸法出し

1）先付金具取付寸法表

単体納まり



連棟納まり



・関東間

		W	W1（W2）	W2（W1）
単体	1.0間	1818		
	1.5間	2727		
	2.0間	3636		
連結	2.5間	4545	1818	2727
	3.0間	5454	2727	2727
	3.5間	6363	2727	3636
	4.0間	7272	3636	3636

※ 3.0間＝1.5間＋1.5間

・関西間

		W	W1（W2）	W2（W1）
単体	1.0間	2014		
	1.5間	2968		
	2.0間	3923		
連結	2.5間	4982	2014	2968
	3.0間	5936	2968	2968
	3.5間	6891	2968	3923
	4.0間	7846	3923	3923

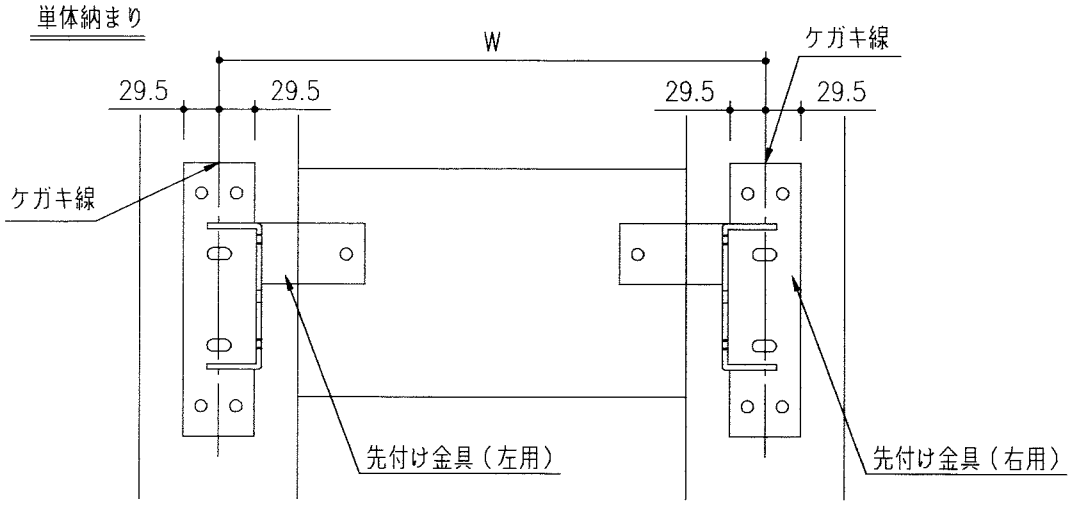
※ 3.0間＝1.5間＋1.5間

・メーターモジュール

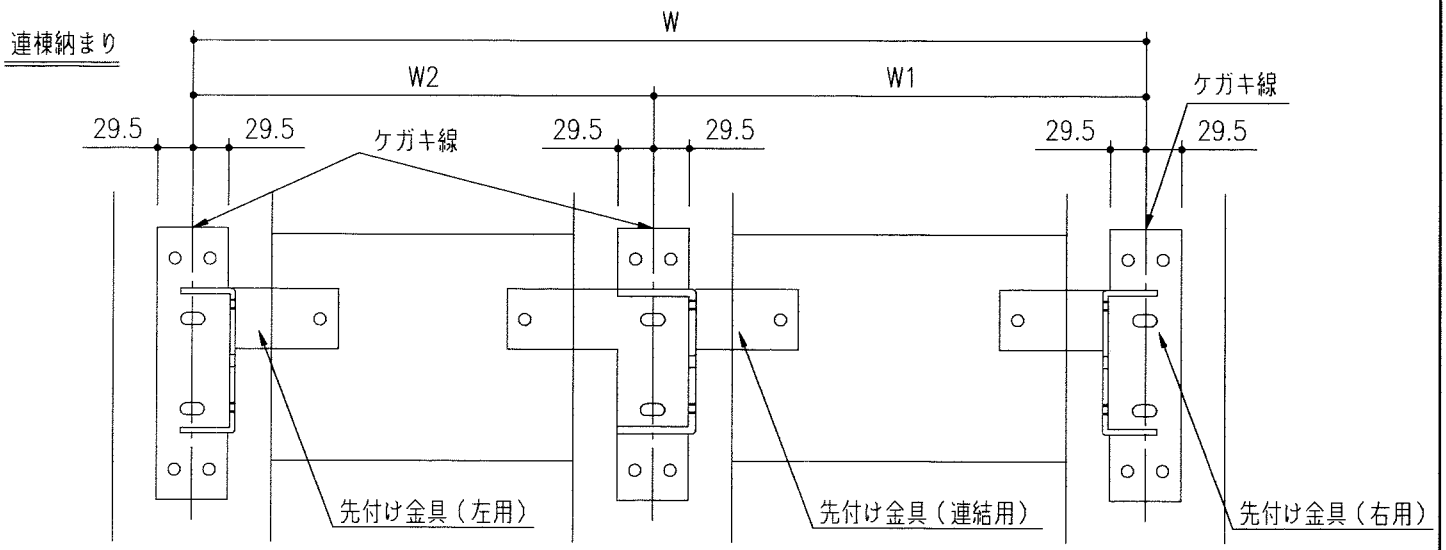
		W	W1（W2）	W2（W1）
単体	W:2000	2000		
	W:3000	3000		
	W:4000	4000		
連結	W:5000	5000	2000	3000
	W:6000	6000	3000	3000
	W:7000	7000	3000	4000
	W:8000	8000	4000	4000

※ W:6000=W:3000+W:3000

単体納まり



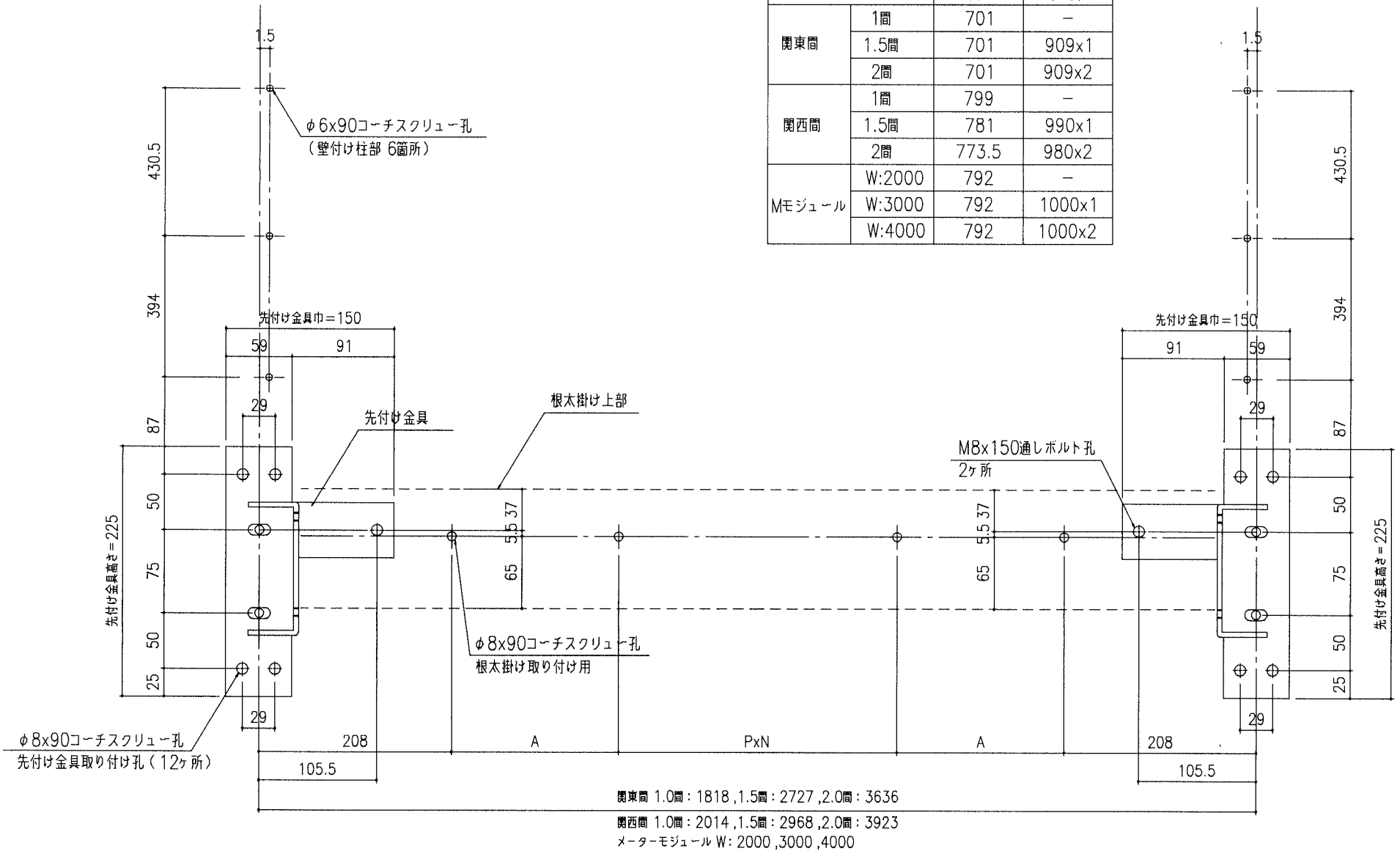
連棟納まり



■単体取付孔位置

●A寸法，PxN寸法

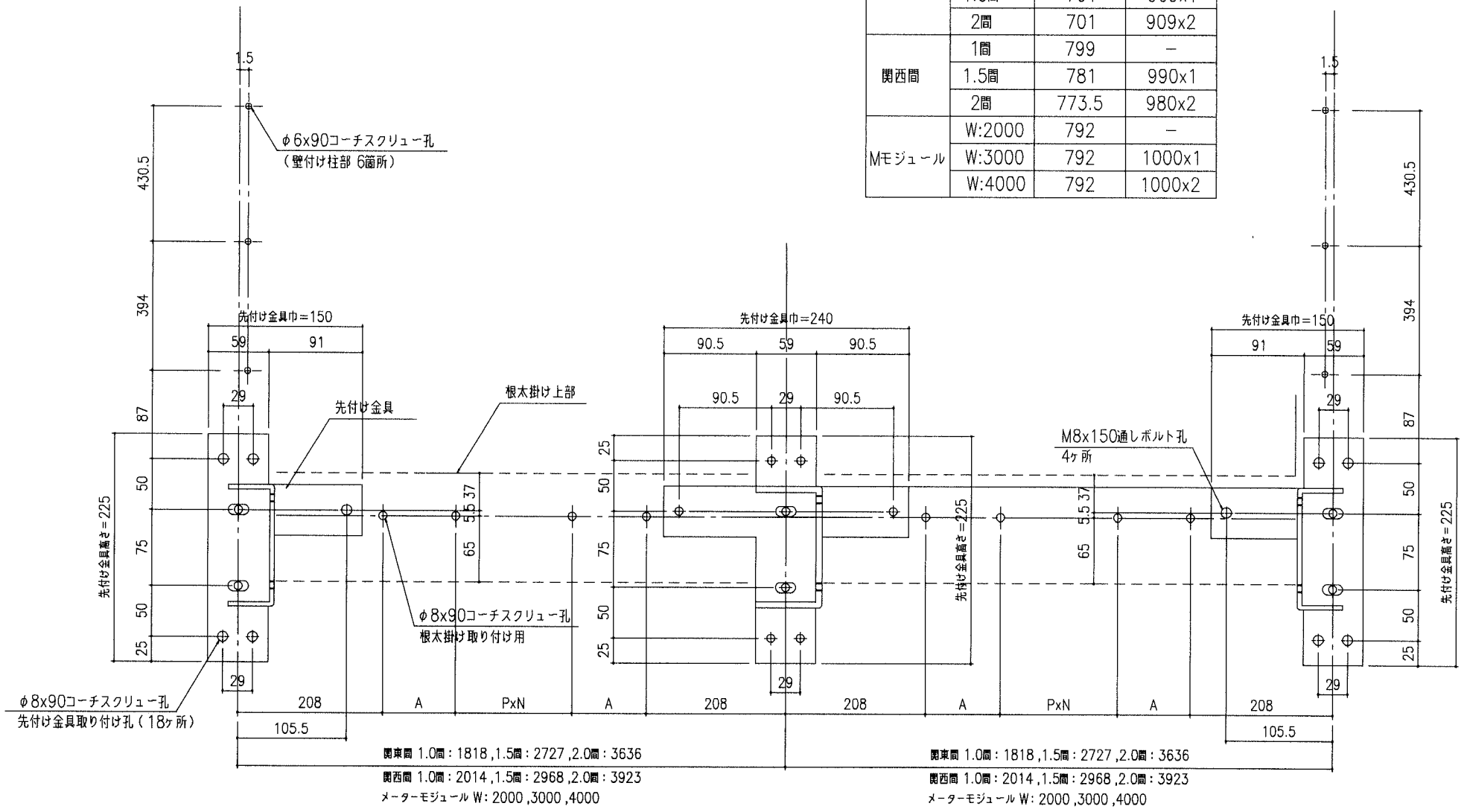
間口		A	PxN
関東間	1間	701	−
	1.5間	701	909x1
	2間	701	909x2
関西間	1間	799	−
	1.5間	781	990x1
	2間	773.5	980x2
Mモジュール	W:2000	792	−
	W:3000	792	1000x1
	W:4000	792	1000x2



■連棟取付孔位置

●A寸法，PxN寸法

間口		A	PxN
関東間	1間	701	–
	1.5間	701	909x1
	2間	701	909x2
関西間	1間	799	–
	1.5間	781	990x1
	2間	773.5	980x2
Mモジュール	W:2000	792	–
	W:3000	792	1000x1
	W:4000	792	1000x2



2 先付金具の取付け

※ 先付金具取付部の柱には、単体・連棟にかかわらずどちらも必ず補強を施して下さい。

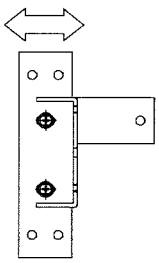
※ コーチスクリューや通しボルトは、正しい下孔径・深さであけてください。「参照 1」

① 予め先付金具の取付く位置に防水シートを貼り付けて下さい。

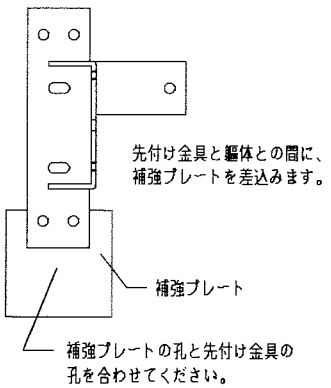
② 先付金具の取付位置を確認し墨出しをします。

③ 先付金具中央部の長孔に孔を開け、コーチスクリューで仮固定し、先付け金具の位置が正確にでていることを確認してください。

*金具の位置がずれている場合は木づちで左右に調整してください。



④ 調整後、下孔、及び通しボルトの貫通孔をあけてください。先付金具下端に補強プレートを差込み、コーチスクリュー及び通しボルトで固定して下さい。



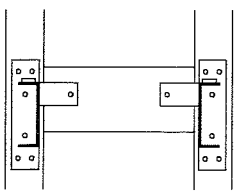
M8 ナット付き角座金は、回転防止のため必ず付属の木ねじ（φ4.1x30）で固定してください。

⑤ 先付け金具にセッティングブロックを貼り付けてください。

⚠ 注意

■コーチスクリュー及び通しボルトが確実に固定されていることを確認してください。

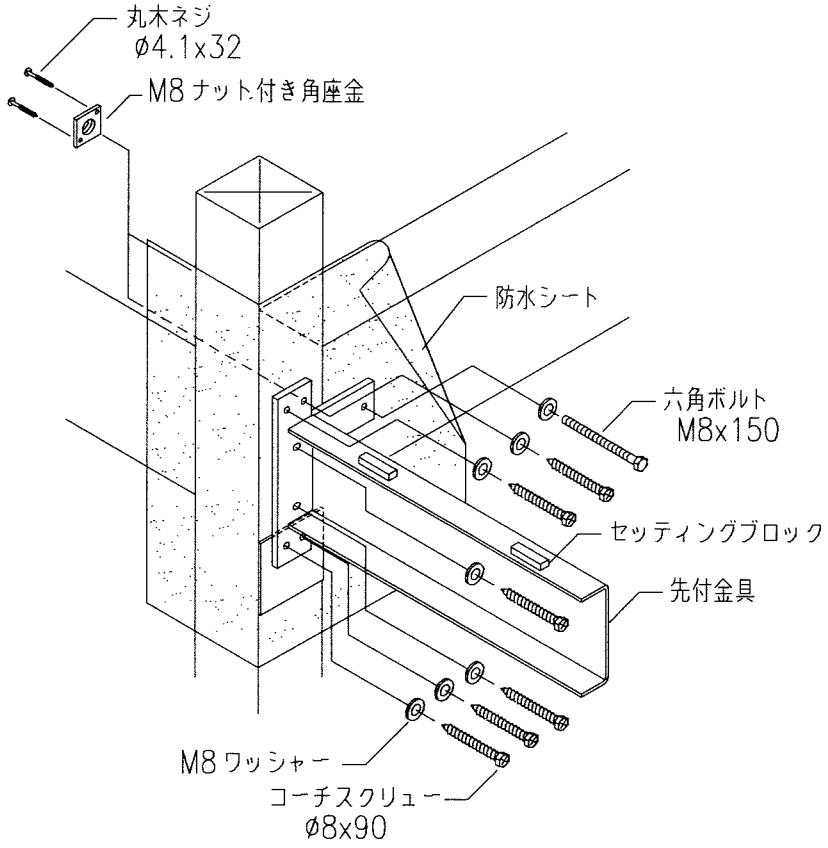
■先付け金具の向きに注意してください。



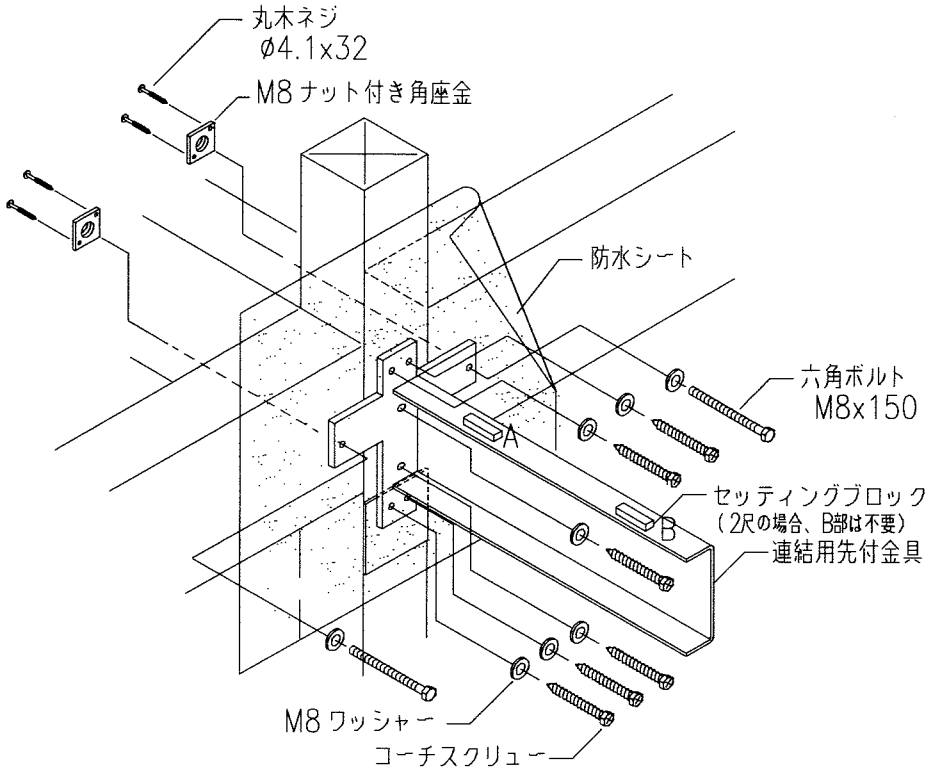
「参照 1」 下孔ドリル径

φ8x75 コーチスクリュー	φ6.5
M8x150 通しボルト	φ9

単体用納まり



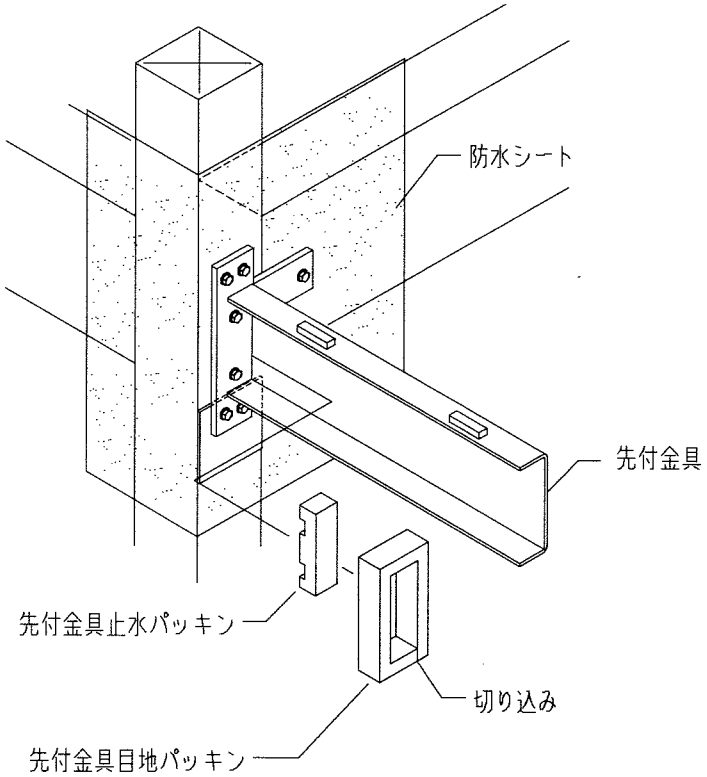
連結用納まり



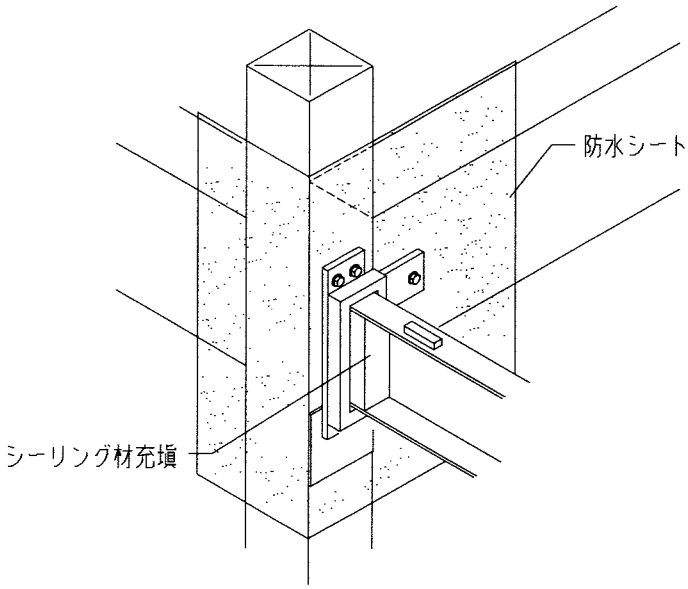
3 止水・目地パッキンの取付け

① 止水パッキンのシーリング処理

- 止水パッキンにシーリング材を塗布し、接着します。金具と止水パッキンの間に隙間がある場合は、シーリング材を充填してください。
- 目地パッキンを先付金具の根元まで入れます。（目地パッキンは、外壁仕上げ後取り外します。）

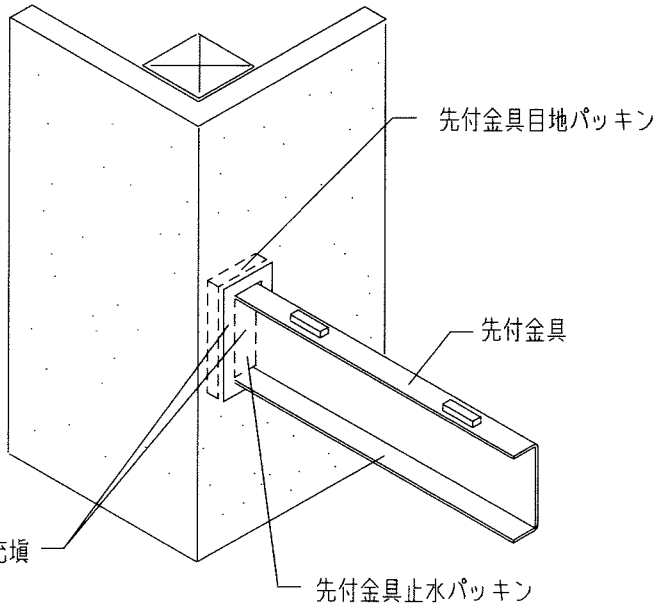


② 外壁仕上げ



③ 先付金具のシーリング処理

- 先付金具の目地パッキンを取り除いた後に充分にシーリングを行ってください。
  外壁仕上げ厚が 30mm 以上の場合は、目地パッキンを残すとバックアップ材の代わりに使用できます。
- コーチスクリュー・ボルト類の増締めを確実に行ってください。その際、先付金具の水平・垂直が確実に出ているか確認してください。

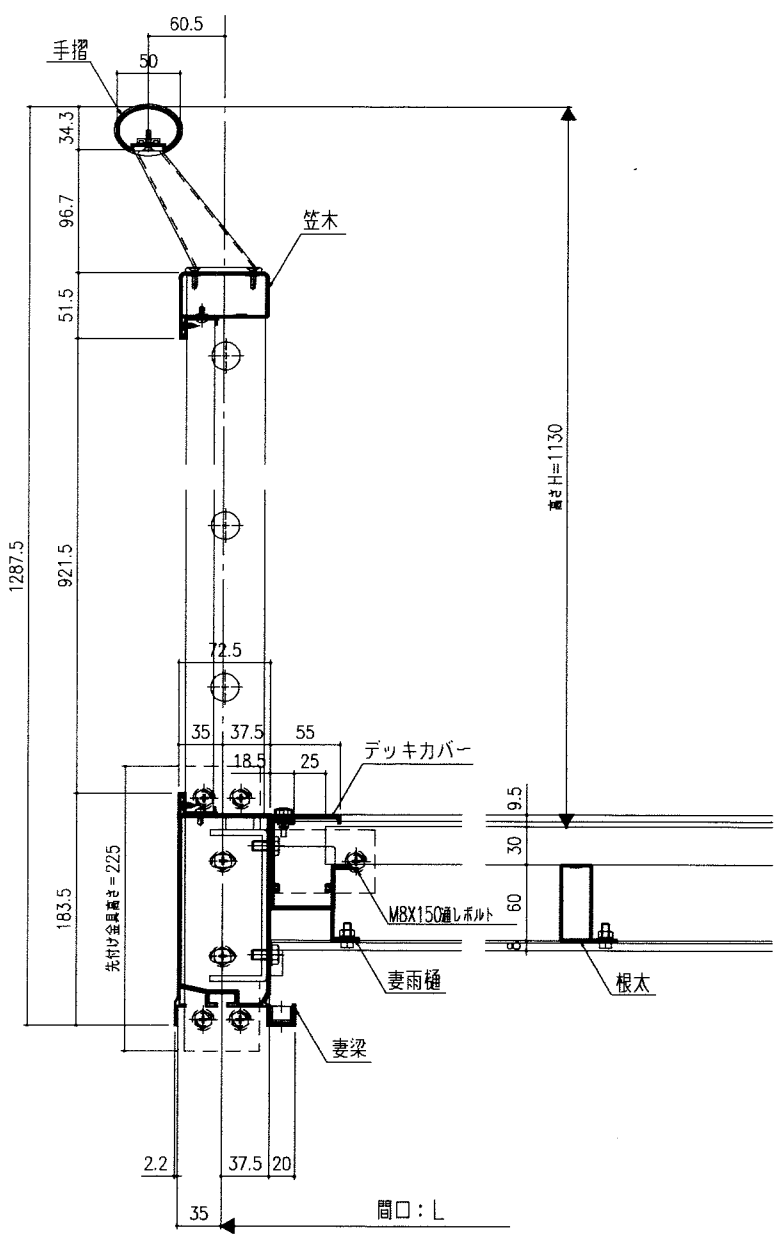


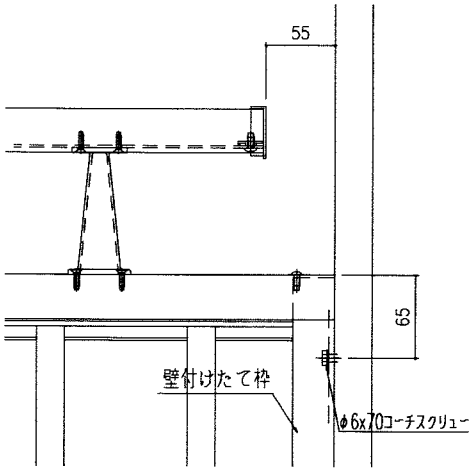
注意

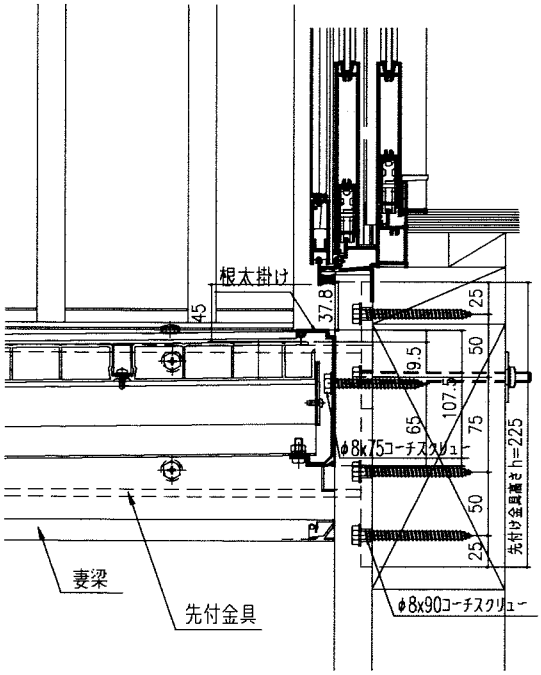
シーリングが不十分ですと雨漏れの原因となります。
充分にシーリングを行ってください。

■先付け金具納まり図　（S=1/6）

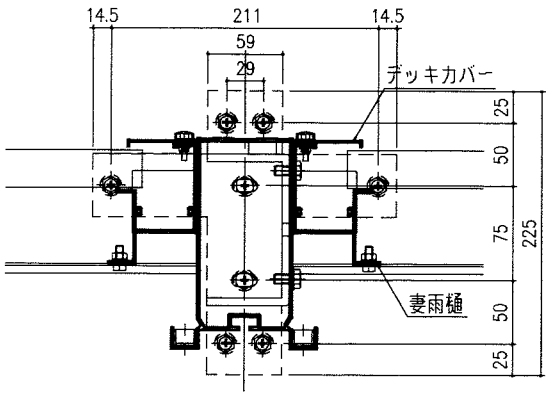
●単体用

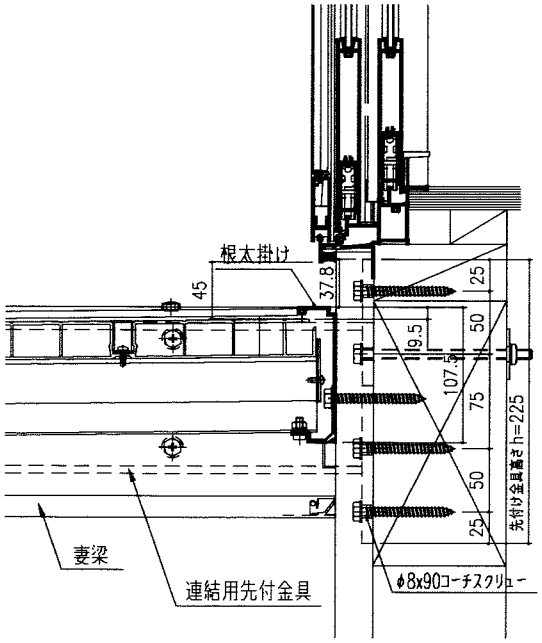
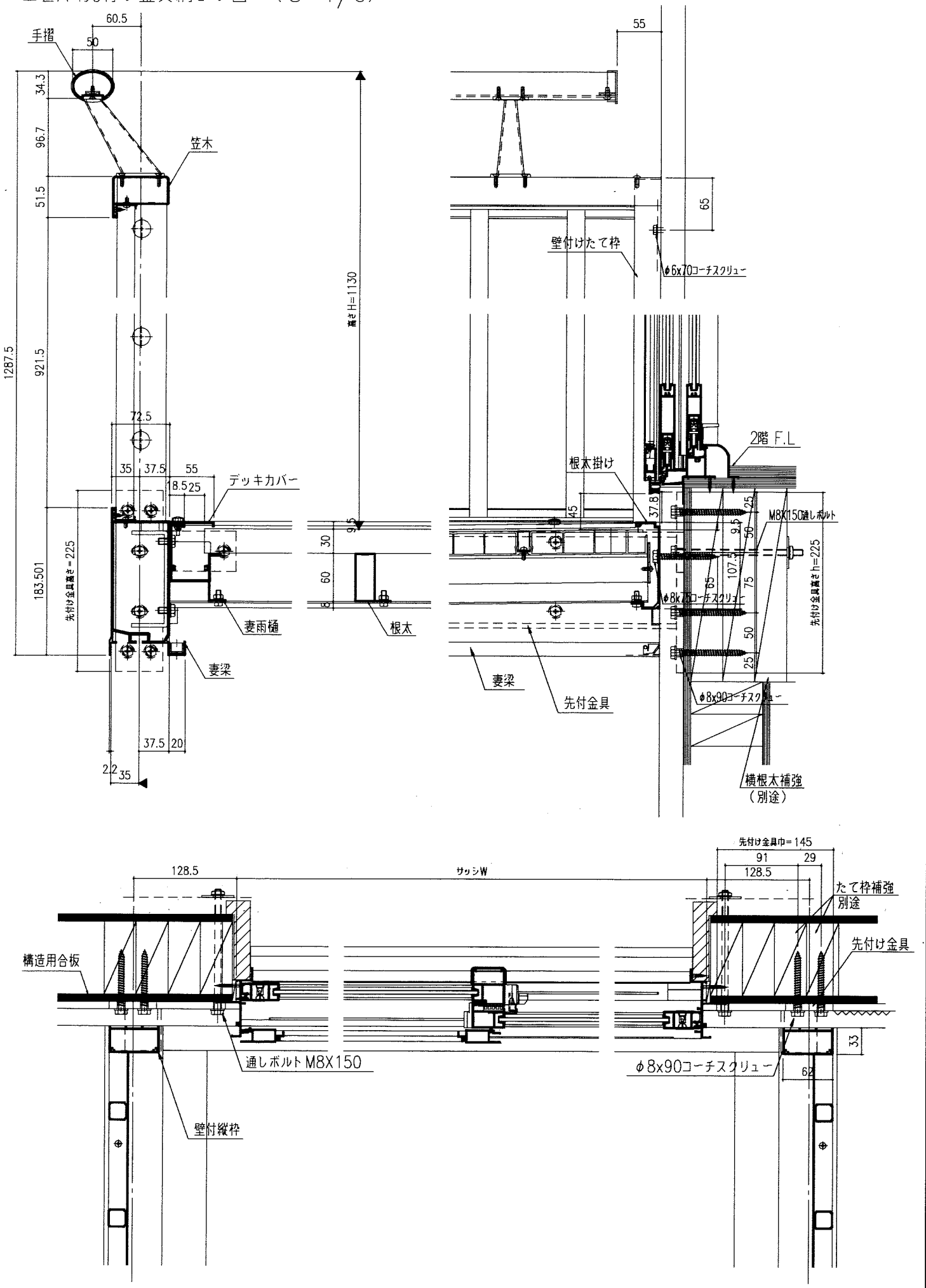






●連結用





■2X4先付け金具納まり図　（S=1/6）